



おかむら  
岡村

たけし  
武

しせいがい  
至誠会

### 学校に水筒を持参させる必要性はあるのか

**問** 学校が児童生徒に水筒を持参するよう言っているが、津市の水道水は安全でないのか。

他市において、過去に学校の水道施設に起因する感染症が発生したからといって、津市の水道水が安全であれば、水筒を持参させる必要はないと考えるが、どうか。

### 熱中症対策や感染症予防のための持参である

**答** 津市の水道水は、水質管理を適切に行っており、飲んでも安全である。また、学校の水道については、年1回、受水槽や高置水槽の検査を受けているほか、学校保健安全法施行規則に基づき、学校薬剤師による年1回の水質検査も実施している。さらに、各学校では、日常検査の中で、水の色や濁りなどをチェックし、安全を確保している。

現状としては、夏の熱中症対策や、他県において平成14年、15年に学校の水道施設に起因すると推定される感染症が発生したことを受けて、学校への水筒の持参を推奨している。

### ●その他の質疑・質問●

- 議案第108号平成30年度津市一般会計補正予算（第6号）
- スポーツ振興事業について
- 教育から
- アスレチック選手権について
- みさとの丘学園の不登校児童・生徒について
- 教員支援員は必要か
- 風力発電の風車について
- 津エアポートラインの減便について



▲乱立により景観を損なう風力発電の風車



はっ た まさ とし  
八 太 正 年

じゆうみんしゅうとうしぎだん  
自由民主党市議団

### 過大施設の最終処分場に2期工事は必要か

**問** 最終処分場（1期工事分）は、平成21年3月策定の計画における最終処分量の推計値（約8,000トン/年）を基に建設されたが、平成30年3月策定の計画における同推計値（約1,300トン/年）との整合性が図れない。

1期工事分だけで40年間近く施設を使える計算となるにもかかわらず、2期工事の実施を前提とした執行部の対応は、いかがなものか。

### 2期工事の実施時期の判断により対応する

**答** 最終処分場の埋め立て期間は、15年となっている中で、当然、施設の有効利用は考えていかなければならない。2期工事の実施時期については、地元との協議にもよるが、残存容量をいかに有効に使っていくかを踏まえ、考えていかなければならない。

現在、1期工事により建設した施設の隣接地（2期工事の予定地）にある大きな穴と、当該施設から突き出ている鉄筋については、2期工事の実施時期をいつにするかの判断によって、処置の仕方を決めたい。

### ●その他の質疑・質問●

- 平成29年度津市一般会計補正予算（第10号）の歳入不足について
- 公衆用道路の売払いについて
- 何の手続きも取らずしてズリ（公有財産）を民間へ無償譲渡したのはなぜか
- 公共工事の火薬使用による事故等に伴う被害者への補償は
- この広い自治体において職員数2,500人は適正か



▲1期工事完了後も長らく放置されている大きな穴と鉄筋